



## 平成 24 年 2 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 24 年 1 月 6 日

上場会社名 株式会社トヨーアサノ 上場取引所 東  
コード番号 5271 URL <http://www.toyoasano.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植松 眞  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 植松 泰右 (TEL) 055 (967) 3535  
四半期報告書提出予定日 平成 24 年 1 月 13 日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 24 年 2 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 23 年 3 月 1 日～平成 23 年 11 月 30 日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 2 月期第 3 四半期	9,193	△6.1	299	493.5	207	—	128	—
23 年 2 月期第 3 四半期	9,791	13.6	50	△64.5	△27	—	△54	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 2 月期第 3 四半期	10 71	—
23 年 2 月期第 3 四半期	△3 79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24 年 2 月期第 3 四半期	13,952	2,015	13.9	161 43
23 年 2 月期	13,437	1,919	13.7	153 23

(参考) 自己資本 24 年 2 月期第 3 四半期 1,935 百万円 23 年 2 月期 1,837 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 2 月期	—	0 00	—	2 50	2 50
24 年 2 月期	—	0 00	—	—	—
24 年 2 月期(予想)	—	—	—	2 50	2 50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

### 3. 平成 24 年 2 月期の連結業績予想 (平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	13,000	2.9	290	—	170	—	130	—	10 84	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年2月期3Q	14,408,400株	23年2月期	14,408,400株
24年2月期3Q	2,415,966株	23年2月期	2,415,966株
24年2月期3Q	11,992,434株	23年2月期3Q	14,393,040株

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済に関しましては、引き続き持ち直しの動きが見られるものの、海外経済の減速等によってペースは鈍化しました。また、夏季の電力制限や供給制限等のリスクが後退した後も、欧州債務問題、タイの洪水等といった下振れリスクが存在し、依然として不透明感の強い状況にあります。

当社グループの事業分野であります建設業界に関しましては、公共投資の下げ止まりや経済の回復基調を受けて、建設投資は持ち直しております。しかし、依然として量的な需要水準は低く、建設需要は総じて弱い動きで推移しております。

当社グループの主力事業でありますコンクリート二次製品事業のうちコンクリートパイル部門につきましては、需要が持ち直しつつありますが、需給ギャップの解消には至っていないこと、見通しについても依然として不透明感が残ること等から、同業他社との厳しい競争が続いております。

第2の柱でありますコンクリートセグメント事業につきましては、公共投資削減の影響を受けて需要が減少し、販売競争が激化する下で非常に厳しい事業環境が続いております。

このような環境下で当社グループは、平成22年度を初年度とする「中期3カ年経営計画」に即し、販売シェアの拡大、および徹底的なコスト削減に努めてまいりました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,193百万円（前年同四半期比6.1%減）、営業利益は299百万円（前年同四半期比493.5%増）、経常利益は207百万円（前年同四半期は27百万円の経常損失）、四半期純利益は128百万円（前年同四半期は54百万円の純損失）となりました。

セグメント毎の業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①コンクリート二次製品事業

コンクリート二次製品事業につきましては、需要が底堅く推移したこと、および「中期3カ年経営計画」に基づいた製造原価等の削減効果等が大きく寄与し、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,978百万円、営業利益は420百万円となりました。

#### ②コンクリートセグメント事業

コンクリートセグメント事業につきましては、需要規模縮小が受注競争を一段と激化させ、依然として厳しい事業環境でありました。当社グループは更なる製造原価の低減により競争力強化に努めましたが、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,300百万円、営業損失は1百万円となりました。

#### ③工事業

工事業につきましては、コンクリート二次製品事業が一定量の受注を確保できたことに加え、工事が総じて順調に進捗したことやコスト管理体制を強化したこと等が増収・増益に寄与し、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,772百万円、営業利益は125百万円となりました。

#### ④不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は141百万円、営業利益は105百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、515百万円増加して13,952百万円となりました。これは主に現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて、419百万円増加して11,937百万円となりました。これは主に短期借入金、長期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて95百万円増加して2,015百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて、393百万円増加して2,063百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、18百万円の減少となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益235百万円、減価償却費336百万円であり、支出の主な内訳は売上債権の増加額163百万円、仕入債務の減少額402百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、138百万円の減少となりました。

これは、主にゴルフ会員権の売却による収入44百万円、ゴルフ会員権の退会による収入40百万円及び有形固定資産の取得による支出221百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、551百万円の増加となりました。

これは、主に長期借入れによる収入1,925百万円、長期借入金の返済による支出1,441百万円、リース債務の返済による支出176百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月期の業績予想につきましては、平成23年9月30日付「業績予想の修正に関するお知らせ」より変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

・ 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

・ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末に使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

・税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

・「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

・四半期連結損益計算書関係

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,093,299	1,699,588
受取手形及び売掛金	2,771,688	2,614,402
商品及び製品	511,290	552,007
原材料及び貯蔵品	176,599	190,404
未成工事支出金	178,204	138,804
その他	225,924	269,631
貸倒引当金	△7,938	△7,560
流動資産合計	5,949,068	5,457,279
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,525,217	1,563,631
土地	4,771,873	4,771,873
その他（純額）	884,706	812,725
有形固定資産合計	7,181,798	7,148,231
無形固定資産		
投資その他の資産	65,196	67,240
投資有価証券	238,633	245,283
その他	525,690	527,221
貸倒引当金	△7,598	△7,976
投資その他の資産合計	756,726	764,529
固定資産合計	8,003,720	7,980,000
資産合計	13,952,789	13,437,280
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,630,840	4,033,773
短期借入金	3,140,669	2,801,668
未払法人税等	94,178	27,658
賞与引当金	39,783	—
その他	489,682	490,053
流動負債合計	7,395,153	7,353,153
固定負債		
長期借入金	3,844,941	3,537,079
退職給付引当金	154,551	146,051
役員退職慰労引当金	130,163	114,683
その他	412,891	367,041
固定負債合計	4,542,546	4,164,855
負債合計	11,937,700	11,518,008

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	720,420	720,420
資本剰余金	589,841	589,841
利益剰余金	801,915	703,512
自己株式	△176,604	△176,604
株主資本合計	1,935,571	1,837,168
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	402	396
評価・換算差額等合計	402	396
少数株主持分	79,115	81,706
純資産合計	2,015,089	1,919,271
負債純資産合計	13,952,789	13,437,280



(2) 四半期連結損益計算書  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
売上高	9,791,374	9,193,525
売上原価	8,740,098	7,948,161
売上総利益	1,051,275	1,245,363
販売費及び一般管理費	1,000,804	945,830
営業利益	50,471	299,532
営業外収益		
受取利息	1,392	1,392
受取配当金	3,829	11,365
負ののれん償却額	1,947	1,947
その他	35,053	15,039
営業外収益合計	42,223	29,745
営業外費用		
支払利息	109,484	108,858
その他	11,154	13,309
営業外費用合計	120,639	122,168
経常利益又は経常損失(△)	△27,944	207,109
特別利益		
固定資産売却益	141	—
ゴルフ会員権退会益	—	34,800
特別利益合計	141	34,800
特別損失		
固定資産売却損	516	—
固定資産除却損	1,013	3,027
投資有価証券評価損	6,616	3,837
産業廃棄物処理費用	22,571	—
特別損失合計	30,718	6,865
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△58,521	235,044
法人税等	△4,663	96,975
過年度法人税等	—	11,371
法人税等合計	△4,663	108,346
少数株主損益調整前四半期純利益	—	126,698
少数株主利益又は少数株主損失(△)	747	△1,685
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△54,605	128,384

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)
売上高	3,258,535	2,909,180
売上原価	2,920,905	2,530,923
売上総利益	337,630	378,256
販売費及び一般管理費	325,495	305,177
営業利益	12,134	73,078
営業外収益		
受取利息	270	257
受取配当金	57	849
負ののれん償却額	649	649
その他	11,048	3,922
営業外収益合計	12,025	5,679
営業外費用		
支払利息	34,725	36,693
その他	3,724	7,174
営業外費用合計	38,450	43,867
経常利益又は経常損失(△)	△14,289	34,890
特別損失		
産業廃棄物処理費用	21,187	—
特別損失合計	21,187	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△35,477	34,890
法人税等	△9,697	14,466
過年度法人税等	—	11,371
法人税等合計	△9,697	25,837
少数株主損益調整前四半期純利益	—	9,052
少数株主利益又は少数株主損失(△)	139	△2,464
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,920	11,517

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△58,521	235,044
減価償却費	413,733	336,654
のれん償却額	2,775	2,775
負ののれん償却額	△1,947	△1,947
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,276	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	16,089	8,499
賞与引当金の増減額(△は減少)	39,573	39,783
受取利息及び受取配当金	△5,221	△12,757
支払利息	109,484	108,858
手形売却損	5,768	6,863
有形固定資産売却損益(△は益)	375	—
有形固定資産除却損	1,013	3,027
投資有価証券評価損益(△は益)	6,616	3,837
ゴルフ会員権退会益	—	△34,800
産業廃棄物処理費用	22,571	—
売上債権の増減額(△は増加)	△629,704	△163,770
たな卸資産の増減額(△は増加)	166,813	15,121
仕入債務の増減額(△は減少)	789,636	△402,932
未払消費税等の増減額(△は減少)	29,485	20,664
未収消費税等の増減額(△は増加)	34,670	2,298
その他	△95,058	△44,180
小計	849,431	123,038
利息及び配当金の受取額	5,218	12,603
利息の支払額	△111,806	△110,969
法人税等の支払額	△86	△43,623
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>742,757</b>	<b>△18,951</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△438,375	△221,190
有形固定資産の売却による収入	11,020	—
投資有価証券の取得による支出	△40,600	—
ゴルフ会員権の売却による収入	—	44,850
ゴルフ会員権の退会による収入	—	40,000
貸付けによる支出	△4,725	—
貸付金の回収による収入	13,805	4,500
その他の収入	4,439	9,430
その他の支出	△50,660	△16,324
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△505,095</b>	<b>△138,734</b>

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	483,335	163,337
リース債務の返済による支出	△61,348	△176,034
セール・アンド・リースバックによる収入	304,392	111,607
長期借入れによる収入	2,160,000	1,925,000
長期借入金の返済による支出	△2,470,057	△1,441,474
自己株式の取得による支出	△164	—
配当金の支払額	△36,730	△30,139
少数株主への配当金の支払額	△900	△900
その他の収入	156	—
その他の支出	△156	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	378,526	551,397
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	616,187	393,711
現金及び現金同等物の期首残高	1,395,844	1,669,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,012,032	2,063,022

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間（自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日）

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日）

	コンクリート二次製品事業 (千円)	コンクリートセグメント事業 (千円)	工事事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	5,088,667	1,877,609	2,685,409	139,688	9,791,374	—	9,791,374
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	22,644	22,644	(22,644)	—
計	5,088,667	1,877,609	2,685,409	162,333	9,814,019	(22,644)	9,791,374
営業利益	201,548	73,099	62,059	100,851	437,558	(387,086)	50,471

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品等

- ・コンクリート二次製品事業・・・パイル、建材等のコンクリート二次製品
- ・コンクリートセグメント事業・・・コンクリートセグメント、スチールセグメント
- ・工事事業・・・既製コンクリート杭工事、仮設山留工事、場所打ちコンクリート杭工事
- ・その他事業・・・不動産賃貸業、保険代理業

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日）

本邦以外の国又は地域における海外売上がないため、該当事項はありません。

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、コンクリート二次製品事業、コンクリートセグメント事業、工事業及び不動産賃貸事業の4つの事業単位を基本として組織が構成されております。

従って、当社は、「コンクリート二次製品事業」、「コンクリートセグメント事業」、「工事業」及び「不動産賃貸事業」の4つを報告セグメントとしております。

「コンクリート二次製品事業」は、コンクリートパイルの製造・販売、建材等の販売を行っております。「コンクリートセグメント事業」は、コンクリートセグメントの製造・販売を行っております。「工事業」は、諸工事の請負を行っております。「不動産賃貸事業」は、当社所有の不動産を賃貸しております。

## 2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンクリート 二次製品事業	コンクリート セグメント 事業	工事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
(1)外部顧客 への売上 高	4,978,605	1,300,993	2,772,869	141,057	9,193,525	—	9,193,525
(2)セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	210,137	—	—	22,086	232,223	△232,223	—
計	5,188,743	1,300,993	2,772,869	163,143	9,425,748	△232,223	9,193,525
セグメント 利益又は損 失(△)	420,519	△1,253	125,283	105,040	649,589	△350,056	299,532

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△350,056千円には、セグメント間取引消去21,895千円、のれん償却額△2,775千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△369,177千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験研究費であります。

2 セグメント利益の調整後の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。